

失恋地帶



[失恋地帶 下载链接1](#)

著者:山村美紗

出版者:光文社

出版时间:1992-10

装帧:新書

isbn:9784334070069

死体発見現場に遺された外国製の口紅—それには新人女優石田梨乃の指紋が…。TV局の森プロデューサーが京都のホテルで殺害された。狩矢警部の執拗な訊問に、恋人田中の助言で偽アリバイを申し立てる容疑者の梨乃。ところがそれが逆効果となり、嫌疑は一層深まる。梨乃が口紅を貸した友人絵里の偽装工作か?局内の派閥抗争か?潔白を証明するため、梨乃は田中とともに真犯人を推理するが、逆に田中にまで疑いの目を向ける…。大女優への野心を抱く恋多き女梨乃の愛の遍歴と、殺人事件の謎とを交錯させた異色のロマン・ミステリー快作。

作者紹介:

1931年(昭6)、京都生まれ。京都府立大学国文科卒。父は憲法学者の木村常信。日本舞踊の花柳流名取、華道の池坊準華監の資格を持つ。

1967年(昭42)、「推理界」に「目撃者御一報下さい」を発表。この頃、テレビドラマ「特別機動捜査隊」の脚本も手がけている。

1970年(昭45)、「京城の死」が第16回江戸川乱歩賞候補となり、のちに「愛の海峡殺人事件」として刊行。

1971年(昭46)、「死体はクーラーが好き」が小説サンデー毎日新人賞候補となった。

1972年(昭47)、「死の立体交差」が第18回江戸川乱歩賞候補となり、1976年(昭51)、「黒の環状線」として刊行。

1973年(昭48)、第19回江戸川乱歩賞候補となった「ゆらぐ海溝」を、1974年(昭49)、「マラッカの海に消えた」として刊行。

1975年(昭50)に刊行した「花の棺」が、1976年(昭51)に第29回日本推理作家協会賞長編賞の候補となる。

1982年(昭57)に刊行した「燃えた花嫁」が「週刊文春」の82年「傑作ミステリーベスト10」の8位に選ばれる。

1982年(昭58)に発表した「消えた相続人」で1983年(昭59)、第3回日本文芸大賞を受賞。

トリックメーカーとして知られ、日本のクリスティともいわれている。西村京太郎と親しい関係にあった。

1996年(平8)、心不全のため死去。

目录:

[失恋地帯_下载链接1](#)

标签

山村美紗

评论

山村著作No.113：新人女演员的恋爱遍历与疑犯追击。大部分篇幅都在描写演艺界疑心暗鬼，最后几章回归本格的不在场证明破解。最后的最后狩矢警部的一番话算是小逆转，余韵犹存。

[失恋地带 下载链接1](#)

书评

[失恋地带 下载链接1](#)